



電力エネルギーの確保について



中国電力(株)島根支社

1. 人口増加とエネルギー消費



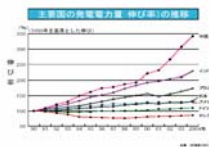
- ・世界の人口は増加傾向にあり、エネルギー消費も人口増加に合わせて増加。
- ・2割程度の先進国が8割近くのエネルギーを消費、先進国が消費を抑制しても発展途上国は膨大なエネルギーを必要。

2. 主要国のエネルギー自給率

ー日本のエネルギー自給率は諸外国に比べて低いー
 日本のエネルギー自給率は、原子力を含めても約20%
 日本のエネルギー自給率は、水力、地熱を含めても約4%

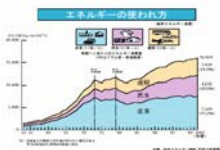
- ・最も利用度の高い石油等の化石燃料は、現時点では有限なエネルギー資源。
- ・日本はほとんどのエネルギーを海外に依存。(エネルギー輸入大国)
- ・日本のエネルギー自給率は4%。

3. 主要国の電力消費



- ・人口増加とともに電力量も増加。人口大国の中国、インド等の国々の電力使用量は今後も増加。
- ・1人あたりの電力消費は先進国に到底及ばないが、いずれ同様な消費の可能性。

4. 日本のエネルギー事情



- ・産業用エネルギーは、オイルショック以降省エネ意識が浸透。
- ・民生、運輸等のエネルギー消費は以前増加傾向。

5. 日本の電力事情



- ・1次エネルギーに占める電力比率は約40%、電力依存は高い。
- ・家庭用電力は、オイルショックも豊かな生活を反映して増加傾向。
- ・電力安定供給には火力、原子力等をうまく組み合わせることが大切。(電源のベストミックス)
- ・電力量の約40パーセントは原子力、電力は経済の根幹にかかわる大切なエネルギー、セキュリティ面、安定供給、環境問題面から原子力も有効に利用。

6. 地球温暖化と電力



- ・地球温暖化問題を考慮し、発電に伴う二酸化炭素の排出を少しでも抑制する必要があり、そのために多岐にわたる排出削減対策をとっている。
- ・自然エネルギー、未利用エネルギーへの取り組みも実施。

7. 中国電力の取り組み

- ・電気は生産と同時に消費、貯蔵はできない。「電源のベストミックス」に向けて開発。
- ・供給の安定性、経済性、環境保全等の面で原子力発電は重要な電源、環境保全のためには新エネルギー等の開発も実施。